

令和5年度犯罪被害者支援大学生ボランティア OB・OGの皆さんからのメッセージ

犯罪被害者等支援シンボルマーク
ギョッとちゃん



令和5年度の犯罪被害者支援大学生ボランティアとして活動した皆さんのメッセージです。
ボランティア活動に興味のある方は、ぜひ読んでみてくださいね。

警察関係の仕事を目指している人はもちろん、そうでない人でも参加して活動することで大きな社会経験となると思います。

(ノースアジア大学 学生)

誰も一人では生きていくことはできません。また、誰も一人にはなりたくないのです。寄り添うことのできる人になってみませんか。

(ノースアジア大学 学生)



ボランティアとしてできることは小さなことかもしれませんが、被害者や遺族のために、少しでも役に立ってみませんか。

(ノースアジア大学 学生)

犯罪被害に遭われた方の苦しみを理解し、それらを多くの県民の方々に伝える活動を行います。

ボランティア一人ひとりの協力が、犯罪のない明るい秋田を築くことにつながります。

(ノースアジア大学 学生)

将来、誰かを助けたい、誰かのためになりたい、困っている人をサポートする仕事に就きたいと考える方は、とてもやりがいを感じるボランティア活動になります。

(ノースアジア大学 学生)



犯罪被害者支援について特別な知識や経験がなくても、このボランティア活動に参加することこそが私たちができる犯罪被害者支援の大きな一歩ではないかなと思います。

(国際教養大学 学生)

自分の家族が犯罪の被害者になってしまった人たちの心理に深く触れることができました。経済的なことや病気などとは違う困り事がある方たちにどのようにして関わるべきかについて学ぶことができました。

(ノースアジア大学 学生)

犯罪被害に遭われた方々のために、少しでも役に立ちたいと思ったならば、参加すべきであると思います。

(ノースアジア大学 学生)

事故や事件で大切な人を亡くされた方や、警察関連の仕事に興味がある方は、ぜひ参加してみてください。

(ノースアジア大学 学生)

犯罪というものは、普段は縁遠いもののように感じてしまうかもしれませんが、誰でも関与する可能性があります。だからこそ、真剣に考えるきっかけになったことがとても良かったと思います。

(ノースアジア大学 学生)

